

# がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコールの提出が必須です  
プロトコールがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	ネダプラチン療法
診療科名	産婦人科
診療科責任者名	大塚 伊佐夫
適応がん種	子宮頸がん
保険適応外の使用	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	Ut-11
登録日・更新日	2009年7月29日
削除日	
出典	アクプラ静注用添付文書
入力者	安室 修

投与順に記入(抗がん剤のみ)

	薬剤名	規格	投与量算出式	ルート	投与時間	施行日
No.1	アクプラ	10、100mg	100mg/m <sup>2</sup>	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input type="checkbox"/> IVHポート <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他( )	60分以上	Day1
	生理食塩液	500mL				

1コースの期間	28日
投与間隔の短縮規定	<input checked="" type="checkbox"/> 短縮可能( 1 日) ・ <input type="checkbox"/> 短縮不可能
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	50%
減量・中止基準	<b>【中止・延期基準】</b> WBC<2,000/mm <sup>3</sup> ANC<1,000/mm <sup>3</sup> Hb<8.0g/dL Plt<5万/mm <sup>3</sup> T-Bil>2.0mg/dL AST>100IU/L ALT>100IU/L BUN>40mg/dL SCr>1.5/dL 上記以外でGrade3(CTCAEv3.0)以上の有害事象発現時
前投薬	5-HT3拮抗剤
その他の注意事項	アクプラ終了後に生理食塩液1000mLの投与を行う 高齢者に対しては1日1回80mg/m <sup>2</sup> (体表面積)から投与を開始することが望ましい

記入者	安室 修
確認者	大塚 伊佐夫